

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名 八戸市

事業名称 八戸おもてなし力倍増！中心市街地活性化支援事業

1. 事業実施概要

本業務は、現在建設中の（仮称）八戸市中心市街地地域観光交流施設を中心に運用する情報通信システムを構築するもので、「フィールドミュージアム八戸」構想のセンターミュージアムとして、当該施設において、市民や観光客等を対象とした当該施設や各フィールドに関する観光情報を受発信する機能を整備する。

あわせて、地域のマーケティング支援、キャンペーンやイベントの開発、観光業者やボランティアと協力した観光コンテンツの企画・開発支援等を、地域の多様な主体が自律的に実施可能にする地域協働プロジェクト運営支援機能を構築し、継続的に運用することができる体制づくりを行う。

- ①地域の観光情報や商店街情報など、有益な情報を収集・蓄積し、市民が発信・共有できる地域情報受発信サイト「ポータルサイト はっち」を開設
- ②観光客や買物客の方でも、まちなかで容易に観光情報等を入手できるよう、フェリカ端末70台およびタッチパネル式のディスプレイ（パブリックディスプレイ）を市内4箇所に設置
- ③市民がICTを活用したこれらの活動を積極的に行うための誘導の仕組み（インセンティブ）として、本市独自のポイントシステム（まちぐるポイントラリー）を構築し、まち歩きを実施

2. 目標の進捗状況

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
ポイントシステム参加組織数	100	175	○	データ管理システム
登録者数	1,000名	1,276名	○	データ管理システム
アクセス件数	40,000件	118,807件	○	データ管理システム
トレーニング	20人	25人	○	ワークショップ参加者参加者数

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

該当なし

<委託業務説明書>

1 平成21年度事業実施において明らかとなった課題

(1) ポータルサイトはっちにおけるコミュニティの活性化

コンテンツ情報を充実させることによって、市民、観光客等に対し、地域情報や観光情報等を効果的に発信するとともに、参加者の口コミ評価への反応が高かった。

課題としては、現時点ではないが口コミによる誹謗中傷を各商店がおそれているため、その対策をしておく必要がある。

(2) 地域資源の見える化による回遊性の向上

ポータルサイトのコンテンツを充実させることにより、地域資源の見えるかにつながった。このコンテンツを活用し、中心市街地でイベントを実施した。市民にとって当たり前のモノが異日常化し、まちなかの回遊性が向上した。

課題としては、携帯を片手に自由に散策よりは、ガイドとともに歩く方の評価が高かったため、両立をさせていく必要がある。

(3) 電子会議システムの有効性

電子会議システムのメリットとして、遠距離や場所の制約の解消並びに時間的問題の解消等ができるということが証明された。

課題としては、初対面の人同士でのシステムの活用は抵抗感が有るとの意見が多かったため、運用面でクリアしていく必要がある。

2 自律的・継続的運営の見込み

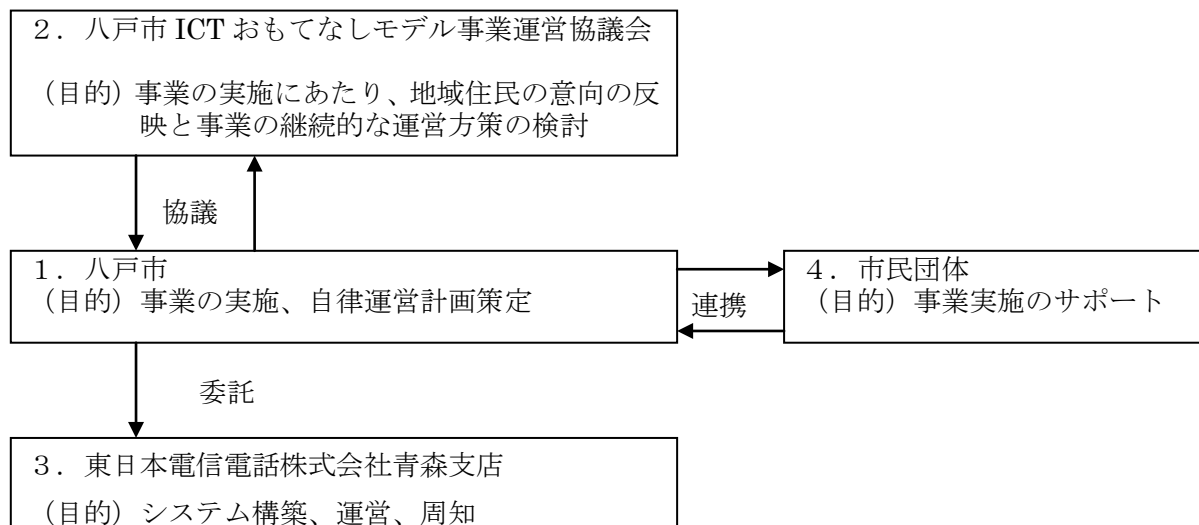
当該事業は、現在、市で建設中の施設の情報発信事業という位置づけがあるため、基本的には、最低限の部分を市で継続していく予定である。ただし、商店街等の情報掲載については、広告料をいただくことで協議していることから、これにより自律的な運用も検討できる。

3 今後の展開方針

情報コンテンツの充実を図るとともに、人気コンテンツをランキング化しユーザービリティの向上を図るとともに、まちぐるポイントラリーへの参加店を増やし、まちなかの回遊性向上を図る。

<実施体制説明書>

1 実施体制



2 各主体の役割

No	名 称	役 割
1	八戸市	事業企画立案、事業実施（発注）、各団体間の連絡調整を行うほか、平成22年度以降の自律化に向けた調査研究を行う。
2	八戸市 ICT おもてなしモデル事業運営協議会	参加団体：青森県企画政策部情報システム課、八戸工業高等専門学校、八戸大学、八戸商工会議所、八戸中心商店街連絡協議会、観光コンベンション協会、BeFM
3	東日本電信電話株式会社青森支店	本市からの委託を受けシステムの構築を行う。
4	4. 市民団体	市民ボランティアガイド協会等ポイントラリー時に連携

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] 構築ウェブサイト <http://www.hacchi.jp>

[2] 掲載ウェブサイト <http://www.city.hachinohe.aomori.jp> [八戸市 HP]

平成22年3月31日

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名：八戸市

事業名称：八戸おもてなし力倍増！中心市街地活性化支援事業

1 概要

市民及び観光客が情報を発信・共有する「経験価値共有型観光支援サイト(ポータルサイトはっち)」を構築するとともに、地域ぐるみで、観光客のニーズにあった商品・サービス・イベントを企画、開発、提供し、地域と観光客のきずなを創造、維持、拡大することを可能とする「参加型おもてなしマネジメントシステム」の構築をした。これにより、地域の回遊性を高める携帯によるまち歩きの基盤を開発した。

2 運用結果

<システム利用状況(3/31時点)>

ポイントラリー登録者数 175人

はっちSNS登録者数 1,101人

アクセス件数 118,807件

ポイントシステム参加組織数 175件

3 課題・改修の必要性

- (1) ポータルサイトはっちにおけるコミュニティの活性化
- (2) 地域資源の見える化による回遊性の向上
- (3) 電子会議システムの有効性

4 その他

活用したネットワーク種別・伝送速度

民間通信ネットワーク(パブリックディスプレイによる情報配信)

FTTH: 100Mbps